

## ちきゅうにやさしいお手伝い名人

## ねらい・目的



## 【生活科として】

- ・家庭での生活に目を向け、家の人と一緒にしてみたい仕事を楽しく行ったり、自分でできることを継続していったりする。

## 【環境教育として】

- ・家の方は、家の中の仕事の方法などを工夫し、エネルギーの無駄が出ないように気をつけていることを知る。
- ・家族でできる省エネ活動を考え、実践化しようとする態度を育てる。

## 取り組みの背景として



環境に配慮した生活を家族全体で考えていかなければなりません。

では

低学年であっても身近なところから省エネを実践できる活動はないでしょうか。

そこで

家族と一緒に家庭の仕事を体験してみることで、自分でもできることが実感でき、“ちきゅうにやさしいお手伝い”についても考えられるようになります。

## 取り組み項目(実施方法)



## 取り組み1 いっしょにしよう、うちのしごと（4時間）

○家族の方は、おうちでどんなお仕事をしているのかな？

- ・おうちの中には、どんなお仕事があるのかな。
- ・毎日しているお仕事があるよ。大変そうだな。
- ・自分にも出来そうなお仕事がありそうだね。



## ポイント

おうちの人の1日のお仕事の様子などを写真で提示するなどして、想起を促す。「毎日の仕事」「大変そう」「手伝えそうだ」という子ども側からの発想を大切にす。

お手伝いをして喜んでもらった。コツも覚えたよ。

## 取り組み2 おしごとじょうずにできたかな（2時間）

○おうちの人、どんなことに気をつけて仕事をしているのかな？

- ・洗濯は水を大切にするために、お風呂の残り湯を使っていたよ。
- ・お皿を洗っている時、水を無駄にしないって言ったよ。
- ・残り物が出ないように、食事を作っているんだって。



### ポイント

一緒にお手伝いをしたやりとりの中に、おうちの人ならではのコツや工夫がある。そうしたものの中には、省エネにつながるものも少なくない。これらを取り上げることで、もっと上手にお手伝いが出来そうだという思いをふくらませたい。

もっと上手にお手伝いができるようになりたいね。

## 取り組み3 もっと上手に、お手伝い名人になろう！（4時間）

○もっと上手にお手伝い名人を目指そう！

どんなことに気をつけるといいだろう？

- ・チャレンジするものを決めて、もう一度お手伝いをしよう。
- ・お手伝い名人＝無駄がない＝地球にやさしい



### ポイント

お手伝いにも慣れてきたら、今度は、“より上手に行く”という目標を持たせたい。その具体的な手立ての一つが「省エネ」という視点である。省エネのために家族の知恵を知ることで、子どもの生活に返っていく効果が期待できる。「無駄がない」から「地球にやさしい」へと繋げていくためには、イラストや写真などのような資料が効果的である。

おうちの人に喜んでもらえたよ。これからもお手伝いをがんばりたいな。

## 取り組み効果



### 効果 1 お手伝いの上達と省エネとのつながりに気づく！

家族の仕事と一緒にいる中で、省エネにつながる工夫や知恵があることに気づくことができる。

### 効果 2 省エネお手伝いの生活化につながる！

お手伝い名人は、省エネとお手伝いを両立させた子どもの姿である。学習後も活動を継続することが可能で、省エネ活動の日常化に結びつく。

## 他のプログラムとのつながり



### ■目ざせ！エコライフスクール（小学校編）

エコライフレポートを活用して、学校全体でエコ行動に取り組む。

### ■省エネ大作戦（家庭・地域・職場編）

家庭でのエネルギーの使い方を振り返り、簡単にできる省エネに取り組む。

### ■「食」を通じて環境を考えよう（家庭・地域・職場編）

「エコ・クッキング」に取り組み、食と環境について考える。

### ★総合的環境副教材

1・2年生用 3 かぞくといっしょに

## 参考資料等



地球にやさしいお手伝い名人になるヒントとして役立つ絵本

「もったいない ばあさん」シリーズ

真珠まりこ さく・え 講談社